

# 第179回柏崎しんきん地区内経済指標

(平成23年2月)

柏崎信用金庫

## 1. 人口・世帯数動向

【単位：人、世帯、％】

地区別	人口			世帯		
	人数	前年同月比	前月比	世帯数	前年同月比	前月比
中心部	9,674	-0.77	0.01	4,055	-0.14	0.00
東部地区	14,372	-0.10	-0.02	5,717	1.43	0.03
西部地区	10,665	-0.85	-0.07	4,013	0.09	0.00
駅南地区	6,271	-0.66	0.07	2,663	0.33	0.07
半田地区	3,623	-0.13	0.00	1,361	0.51	0.14
横山地区	5,661	-0.47	-0.01	1,874	0.00	-0.21
茨目・田尻地区	6,986	-0.24	0.14	2,353	0.34	0.25
荒浜地区	5,060	-1.03	-0.29	2,010	0.39	-0.39
その他地区	20,513	-1.87	-0.14	7,163	-0.15	0.11
西山町地区	6,240	-1.20	-0.04	2,123	-0.37	-0.04
高柳町地区	1,879	-3.39	-0.52	839	-1.17	-0.11
柏崎市計	90,944	-0.93	-0.05	34,171	0.24	0.01
刈羽村	4,886	-0.38	0.10	1,560	0.90	0.19
小国地区（長岡市）	6,246	-2.46	-0.19	2,118	-1.30	0.04
出雲崎町	5,112	-1.40	-0.01	1,806	-0.27	0.16
合計	107,188	-1.02	-0.05	39,655	0.15	0.03

（資料出所：柏崎市、各市町村）

地域全体の人口動向は、前年同月比では引き続きすべての市町村・地区で減少しており、柏崎市で860人、0.93％、刈羽村で19人、0.38％、小国地区（長岡市）で158人、2.46％、出雲崎町で73人、1.40％とそれぞれ減少し、全体では1,110人、1.02％の減少となっている。また、前月比においても、刈羽村で5人、0.10％と増加したものの、柏崎市で54人、0.05％、小国地区で12人、0.19％、出雲崎町で1人、0.01％と減少したことから、全体では62人、0.05％の減少となった。

一方、世帯数は、前年同月比では小国地区で28世帯、1.30％、出雲崎町で5世帯、0.27％と減少したが、柏崎市で82世帯、0.24％、刈羽村で14世帯、0.90％と増加したことから、全体では63世帯、0.15％の増加となった。また、前月比においても、柏崎市で6世帯、0.01％、刈羽村で3世帯、0.19％、小国地区で1世帯、0.04％、出雲崎町で3世帯、0.16％と増加した結果、全体では13世帯、0.03％と増加している。

## 2. 労働需給状況

【単位：人、倍、％】

	柏崎職安	新潟県	前年同月比		前月比	
			柏崎	県	柏崎	県
月間有効求人	1,165		13.10		2.91	
月間有効求職者	2,134		-7.69		5.07	
月間有効求人倍率	0.55	0.67	0.10*	0.18*	-0.01*	-0.01*

\*印は差し引き計算

（資料出所：柏崎公共職業安定所）

景気の同時指標である柏崎職業安定所管内の労働需給状況は、有効求人・求職状況（パートを含む全数）では、月間有効求人数が1,165人と前年同月比で135人、13.10％の増加、前月比でも33人、2.91％と増加している。

一方、月間有効求職者数は2,134人と前年同月比で178人、7.69％の減少となったが、前月比では103人、5.07％の増加となっている。

以上の結果、月間有効求人倍率は0.55倍と前年同月比で0.10ポイント上回ったものの、前月比では0.01ポイント下回っている。なお、県平均0.67倍と比べると0.12ポイント下回っている。

また、新規求人・求職状況（パートを含む全数）については、月間新規求人数が508人と前年同月比で19人、3.88％の増加、月間新規求職者数では678人と前年同月比で63人、10.24％と増加した結果、月間新規求人倍率は0.75倍となり、前年同月の0.80倍に比べて0.05ポイント下回っている。

### 3. 建築確認申請

【単位：件】

	当 月 の 申 請			平成22年度累計	
	件 数	前年同月比	前 月 比	件 数	前年同月比
一 般 住 宅 ( 併 用 )	12	-11	3	228	-138
共 同 住 宅	0	-1	0	5	-5
事 務 所	1	1	1	5	-4
作 業 所 ・ 工 場	0	-1	0	10	7
営 業 建 物	0	-2	-1	12	-11
公 共 建 物	0	-1	0	1	-2
そ の 他	0	-8	-3	71	-24
合 計	13	-23	0	332	-177

(資料出所： 柏崎市建築住宅課)

建築確認申請の状況は、当月の申請合計が13件と前年同月比で23件の減少、前月比では増減なしとなっている。工種別における主な増減は、前年同月比では一般住宅（併用）で11件、その他で8件減少している。

なお、工種全体の申請内容は、新築が7件、増築が5件、改築が1件となっている。また、一般住宅（併用）12件における市内・市外施工業者別の確認申請の状況は、市内施工業者が8件（うち新築5件、増築3件）、市外施工業者が4件（うち新築1件、増築2件、改築1件）となった。

### 4. 電力使用量

【単位：口、kwh、%】

	契 約 口 数			使 用 量		
	口 数	前年同月比	前 月 比	使 用 量	前年同月比	前 月 比
電 灯	65,145	0.29	-0.10	27,380	4.78	-9.09
電 力	10,915	-2.23	-0.25	42,802	2.70	4.24

(資料出所： 東北電力(株)柏崎営業所)

〔 電灯は、家庭・道路照明・一般器機等に100Vの電源。  
電力は、工場・スーパー・モーター動力等主に200Vの電源。 〕

契約口数は、電灯が前年同月比で192口、0.29%の増加となったものの、前月比では68口、0.10%と減少している。一方、電力においては、前年同月比で249口、2.23%の減少、前月比でも28口、0.25%の減少となっている。

使用量は、電灯が前年同月比で1,251kwh、4.78%の増加となったが、前月比では2,740kwh、9.09%と減少している。一方、電力においては、前年同月比で1,127kwh、2.70%の増加、前月比でも1,744kwh、4.24%と増加している。

### 5. ガス供給量・水道給水量

【単位：m<sup>3</sup>、%】

	ガ ス 供 給 量			水 道 給 水 量		
	供 給 量	前年同月比	前 月 比	給 水 量	前年同月比	前 月 比
家 庭 用	1,823,120	-4.14	2.73	668,449	-0.91	-2.85
営 業 用	301,831	-9.26	-17.35	112,286	-2.48	-6.13
工 場 用	772,577	-2.19	-15.09	118,825	-4.95	-12.02
官 公 学 校 用	745,939	4.72	-5.57	74,276	-2.94	-8.72
そ の 他				86	91.11	186.66
合 計	3,643,467	-2.49	-5.11	973,922	-1.76	-4.90

(資料出所： 柏崎市ガス水道局)

柏崎地域でのガス供給量は、用途合計では前年同月比で93,397m<sup>3</sup>、2.49%の減少、前月比でも196,255m<sup>3</sup>、5.11%の減少となっている。用途別内訳を見ると、前年同月比では官公学校用を除くすべての用途で減少、前月比でも家庭用を除くすべての用途で減少している。

一方、水道給水量においては、前年同月比で17,461m<sup>3</sup>、1.76%の減少、前月比でも50,265m<sup>3</sup>、4.90%と減少している。用途別内訳を見ると、前年同月比ではその他を除くすべての用途で減少、前月比でもその他を除くすべての用途で減少している。

## 6. 北陸自動車道利用状況

【単位：台、％】

	入 口			出 口		
	台 数	前年同月比	前 月 比	台 数	前年同月比	前 月 比
柏 崎	70,933	1.42	-3.09	73,630	-0.72	-2.55
西 山	31,380	-2.33	-1.86	27,839	-2.64	-3.77
米 山	13,378	-1.73	11.39	13,008	0.20	13.31
合 計	115,691	0.01	-1.27	114,477	-1.09	-1.28

(資料出所：柏崎市産業振興部観光交流課)

柏崎地域の物流指標となる高速道路出入口の交通量は、入口が全体では前年同月比で13台、0.01%の増加、前月比では1,489台、1.27%と減少している。

一方、出口においては、全体では前年同月比で1,262台、1.09%の減少、前月比でも1,491台、1.28%の減少となった。

インター別で見ると、前年同月比では入口で柏崎インターのみが増加、出口では米山インターのみが僅かに増加しており、前月比では入口・出口ともに米山インターのみが大幅な増加となっている。

## 7. 市内民間金融機関預金・貸出金残高

【単位：百万円、％】

	預 金			貸 出 金		
	残 高	前年同月比	前 月 比	残 高	前年同月比	前 月 比
末 残	357,577	-1.70	0.06	146,891	-3.31	-0.88
平 残	357,097	0.10	-0.13	147,231	-1.11	-0.65

預金は、末残が前年同月比で6,204百万円、1.70%の減少となったものの、前月比では221百万円、0.06%と増加している。また、平残においては、前年同月比で372百万円、0.10%と増加したが、前月比では494百万円、0.13%と減少している。

一方、貸出金は、末残が前年同月比で5,041百万円、3.31%の減少、前月比でも1,316百万円、0.88%と減少している。また、平残においても、前年同月比で1,656百万円、1.11%の減少、前月比でも970百万円、0.65%の減少となっている。

## 8. 手形交換高

【単位：枚、百万円、％】

	枚数/金額	前年同月比	前 月 比
交 換 枚 数	27,530	-5.57	-14.86
交 換 金 額	20,520	-0.06	-21.87
不 渡 り 手 形 枚 数	2	-96.77	-80.00
不 渡 り 手 形 金 額	0	-99.08	-94.05

(資料出所：長岡手形交換所)

当金庫が参加している長岡手形交換所における手形交換高は、交換枚数が前年同月比で1,625枚、5.57%の減少、前月比でも4,807枚、14.86%と大幅に減少している。また、交換金額においても前年同月比で14百万円、0.06%の減少、前月比では5,745百万円、21.87%の大幅な減少となっている。なお、不渡手形は2枚、406千円発生している。

法的整理（負債1,000万円以上）による県内企業倒産8件（前年同月4件、前月4件）、負債総額35億円（同5億円、同15億円）となっている。地区別では、下越地区で6件（新潟市5件、胎内市1件）、上越地区で2件（上越市2件）となり、中越地区では発生していない。業種別は、建設業2件、製造業1件、販売業2件、サービス業1件、その他2件となっており、倒産原因については、販売不振5件、経営者の病気・死亡1件、その他2件となっている。

当月の企業倒産は8件、負債総額で35億円と、前年同月比では件数で4件の増加、負債総額でも30億円の増加となっている。

県内経済は、持ち直しの動きが続いているものの、足踏みもみられるなど、依然として厳しい状況にある。個人消費・物価は、持ち直してきているが、弱い動きもみられる。雇用面は持ち直しの動きが弱まっているものの、引き続き厳しい状況となっている。また、企業収益・景況感、改善の動きが弱まっている。